

お知らせ

1. 件名 : 木曾三川河川敷での「セアカゴケグモ」確認について<第6報>

2. 内容 :

- 1) 6月5日から実施していた木曾三川下流部の調査結果
木曾川下流河川事務所管内(木曾川、長良川、揖斐川の河口から約2.5km付近まで)の調査(約2.5kmピッチ)について、「セアカゴケグモ」の確認なし。
- 2) 昨日(6月9日)、津島保健所、(社)愛知ペストコントロール協会などによる生息調査を実施。
この生息調査において「初期段階であり、広域的な広がりはない。定期的な観察が必要」との報告
- 3) 本日の調査結果
国営木曾三川公園 東海広場・・・1匹確認。焼却除去
木曾川下流河川事務所・・・2匹確認。捕殺
長良川河口堰管理所・・・53匹、卵のうち46袋確認。焼却除去
- 4) 今後の対応
【木曾三川公園】
これまで生息が確認されている側溝施設等について、明日(6月11日)に除去効果を上げるため、大型バーナーによる焼却作業を実施するとともに、引き続き調査を実施します。
【木曾川下流河川事務所及び長良川河口堰管理所】
週1回程度の頻度で調査を継続します。
- 5) 特定外来生物「セアカゴケグモ」は、毒を持っており、見つけたら素手でつかまない。さわらないでください。
河川敷内で見つけた場合は、木曾川下流河川事務所(下記問い合わせ先)へ連絡してください。
もし、かまれたら、赤くはれ、神経の働きがさまたげられたり、吐き気、めまい、嘔吐したりといった症状が出ます。かまれたら、患部を冷やしながら直ちに病院へ行きましょう。かまれたクモを殺して持参すると適切な治療につながります。
- 6) 一般の方への情報提供は、以下のホームページにて公表しています。

<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>

※1)～3)の詳細は別紙のとおり

3. 解禁 : なし

4. 配布先 : 中部地方整備局記者クラブ、三重県政記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、津島市政記者クラブ、桑名市政記者クラブ、大垣市政記者クラブ

5. 問合せ先 : 国土交通省木曾川下流河川事務所 事業対策官 溝口敏明
管理課長 末松隆夫
0594-24-5711
時間外連絡先 副所長 小林 武
090-1980-5761
事業対策官 溝口敏明
090-1479-2835

別紙

1) 6月5日から実施していた木曾三川下流部の調査結果

6月5日から実施していた、木曾川下流河川事務所管内（木曾川、長良川、揖斐川の河口から約2.5km付近まで）の河川区域内調査は、約2.5km間隔で「セアカゴケグモ」が生息しているようなブロックの隙間等について本日6月10日迄実施しました。その結果、「セアカゴケグモ」は確認出来ませんでした。

【資料-1を参照】

また、排水機場等の河川管理施設内の調査も今後実施することとしています。更に市町が占有している公園等については、既に注意喚起を含め調査を行う旨の連絡を行っています。

2) 6月9日、津島保健所、(社)愛知ペストコントロール協会など専門機関による生息調査が実施され、駐車場周辺の木杭や看板等においてセアカゴケグモ11匹を確認し、焼却除去を実施しました。

この生息調査において「初期段階であり、広域的な広がりはない。定期的な観察が必要」との報告を得ました。

さらに、木曾三川公園センターの調査では、「木曾三川公園センター第1駐車場」においてセアカゴケグモ5匹及び卵のう1個、「国営木曾三川公園東海広場」において、セアカゴケグモ8匹を確認し、焼却除去しました。

3) 本日の調査結果

「国営木曾三川公園東海広場」では、セアカゴケグモ1匹を確認、焼却除去しました。なお、木曾三川公園センター第1駐車場においては確認されていません。

木曾川下流河川事務所では新たに2匹確認し、捕殺しました。長良川河口堰管理所でも新たに53匹、卵のう46袋確認し、焼却除去しました。

4) 今後の対応

【木曾三川公園】

これまで生息が確認されている側溝施設等について、明日（6月11日）に除去効果を上げるため、大型バーナーによる焼却作業を実施するとともに、引き続き調査を実施します。

【木曾川下流河川事務所及び長良川河口堰管理所】

週1回程度の頻度で調査を継続します。

河川敷における「セアカゴケグモ」の生息調査について

木曽川下流河川事務所では、平成20年5月22日に愛西市立田町地先の国営木曽三川公園東海広場で「セアカゴケグモ」の生息が確認された（詳細は別でHPに掲載しております）ことを受けて、管内
（木曽川：河口～24.4k）
（長良川：揖斐川との合流点～24.4k）
（揖斐川：河口～26.8k）
（多度川・肱江川：揖斐川の合流点～258号橋）
の調査を行いました。

調査実施日：平成20年6月5日、6日、9日、10日

調査内容：堤防のブロック部分、樋門・樋管等の構造物の隙間、側溝の中、
投棄ゴミの周辺等を調査。

調査場所：調査対象が広範囲のため管内（別で管理者がいる公園等を除く）
を約2.5km毎に区切りセアカゴケグモの生息しそうなポイントを
定め調査。

調査人数：延べ22名

調査結果：セアカゴケグモの生息は確認できませんでした。

調査状況写真



場所：愛西市八開町給父地先
（木曽川右岸22.8k付近）
調査箇所：防災ステーションの側溝



場所：海津市海津町古中島地先
（長良川右岸17.0k付近）
調査箇所：川裏堤防のブロック積の隙間